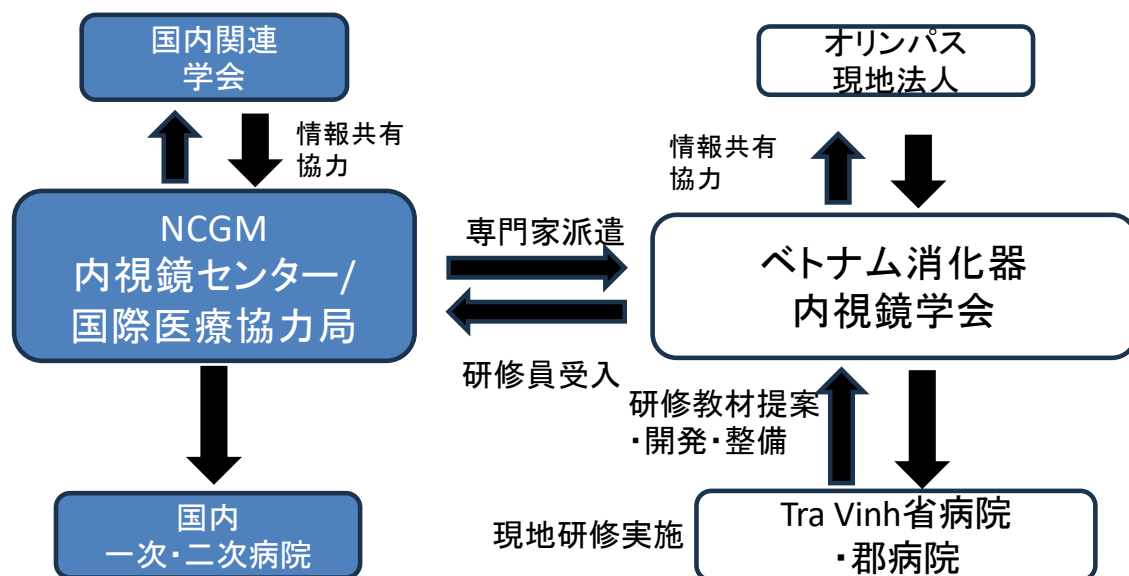


ベトナム南部郡病院における消化器内視鏡サービスの改善

1. ベトナムでは非感染性疾患の増加が著しく(2021年死亡原因: 非感染性疾患78.2%)がんは心血管疾患に続く死亡原因である。消化器内視鏡はがんの早期発見にのみならず消化器系疾患の治療方針を決める診断や検査に有用であり、ベトナム公的医療機関の基礎的な入院治療・救急医療を担う郡病院でも内視鏡診断・治療技術提供は国の指針で定められている。他方、財源・人的資源の制約から郡病院の内視鏡サービスは最小限のスタッフと限られた機材・施設で支えられており、内視鏡サービスの質や機材稼働率が担保されておらず潜在的患者ニーズに対応していない。
2. 本事業では、郡病院レベルの内視鏡サービスの質の担保、機材稼働率・症例数の改善を目的とし、NCGM国際協力局がベトナム消化器内視鏡学会と実施した共同調査を基に、同学会やTra Vinh省病院、現地の法人企業と1) 感染管理・機材モニタリング、2) 安心安全な基本的診断治療技術の向上、3) ネットワーク構築のための研修、人材育成を行う。
3. 本事業で研修教材の整備、研修実施をベトナム側とともに行うことで、ベトナム消化器内視鏡学会および省病院が、管轄内の郡病院を支援・指導する能力強化を図り、自律的に質の担保された消化器内視鏡サービスが郡病院で地域の住民に提供される体制整備を行う。



<研修スケジュール予定>

- 6月: 専門家派遣(6名)
・現状視察と研修計画の策定
- 10月: 本邦研修(研修生7名受入れ)
・NCGM、国内一次・二次病院視察
・感染管理・機材モニタリング研修
- 12月: 専門家派遣(6名)
・省病院にて郡病院スタッフを研修
・省病院・郡病院スタッフ間ネットワーク構築
- 1月: オンライン会議(6名)
・教材の改定、次年度研修内容協議